

エチオピアにおける農民への稲作技術移転への取り組み

An approach of transferring rice-production technology to farmers in Ethiopia

○成岡道男 † 早田茂一 † 藤本直也 † 森下賢己 †
 (NARUOKA Michio) (HAYATA Moichi) (FUJIMOTO Naoya) (MORISHITA Masaki)

1. はじめに

国際農林水産業研究センター（以下、「JIRCAS」という）は、アフリカにおけるコメ生産を 10 年間で倍増するイニシアチブである CARD（Coalition for African Rice Development）の運営委員会のメンバーとして、エチオピア国アムハラ州において、農地や灌漑施設などの稲作基盤の条件整備を検討するために、調査・研究を進めている。この活動の一環で、コメの増産に資する技術改善も行っており、農民への技術移転を行った上で、農民圃場での実証調査を行っている。

エチオピアにおける農民への技術移転は、各郡に設けられた農民訓練センターを拠点として、農業普及員（以下、「普及員」という）が農民に指導する体制をとっている。しかし、エチオピアではコメが雑穀の一部として扱われており、農業普及員養成学校（以下、「学校」という）で稲作技術を教えておらず、普及員に稲作の知識が乏しい。このような状況から、JIRCAS は農民への稲作技術移転に際し、まず学校の教員（以下、「教員」という）への技術移転を行い、その教員が普及員や農民への技術移転を行う体制を試行した。

ここでは、JIRCAS がエチオピアで農民に稲作技術を移転するために行った活動を紹介し、その過程で生じた問題点と解決に必要な対策について報告する。

2. 調査の概要

(1) 調査地域

調査地域はアムハラ州北西部に位置するタナ湖東岸のフォガラ平原である。ここは内陸低湿地帯であり、気候は 5 月から 10 月にかけての雨期と 11 月から 4 月にかけての乾期に分かれている。降水及び周辺地域からの地表流出や地下水浸透によって、7 月上旬から 9 月にかけて広く自然湛水する。この影響で稲作に適した条件となっているが、技術の更新が滞っており、増産への道筋が立っていない。

(2) 稲作技術を移転する体制

稲作技術の移転体制は、(a)JIRCAS, (b)教員, (c)普及員, (d)農民で構成されている。その機能は、(i)研修関連の情報を伝える JIRCAS→教員

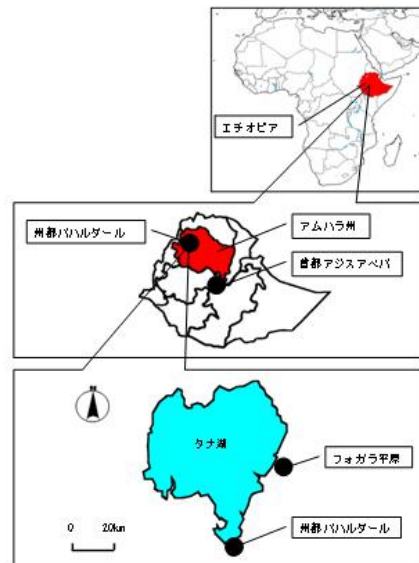


図 1 調査位置図

† 国際農林水産業研究センター

キーワード 技術移転, 稲作, エチオピア, アフリカ, 内陸低湿地帯, 実証調査, CARD

→普及員→農民の順の連絡網，(ii)農民の意見をくみ取るための農民→普及員→教員→JIRCAS の順の連絡網，(iii)技術を移転するための JIRCAS→教員→普及員・農民の順の指導体制などからなっている。

(3) 技術移転の方法

試行した技術移転の手順は以下の通りである。

- ・ 事務所など室内で，JIRCAS が教員へ資料説明やビデオにより，技術を説明する。
- ・ 試験圃場で，JIRCAS が教員へ OJT(On the Job Training)により，技術指導する。
- ・ 教室など室内で，教員が普及員と農民へ技術を説明する。
- ・ 試験圃場で，教員が普及員と農民へ OJT により，技術指導する。
- ・ 農民の圃場で，教員が普及員と農民へ OJT により，技術指導する。

3. 技術移転の過程で生じた問題

本調査では，10名の農民に催芽処理，施肥，移植栽培法，筋蒔き等を技術移転した。その過程で，以下のような問題が生じた。

(1) JIRCAS から農民への連絡

- ・ 農民が携帯電話の通話圏外に移動し，連絡がつかないことがあった。
- ・ 普及員の事務所と農家が遠いため，指導に行く回数が少なかった。

(2) 農民から JIRCAS への連絡

- ・ 普及員を通した連絡内容と農民から直接聞いた内容が異なる場合があった。
- ・ 一部の農民に調査の趣旨が理解されず，接触を拒絶された。

(3) 稲作技術の移転

- ・ 教員から農民に移転された技術が農民の圃場で使われなかった。
- ・ 普及員が不在時に，農民が予想外の行動をとった。
- ・ 地区担当の普及員全員が人事異動で入れ替わった。

4. 問題解決に必要な対策

上述の問題を軽減・解消するためには，以下の活動が重要と思われる。

(1) 農民との信頼関係の醸成

- ・ 密接なコミュニケーション
- ・ キーパーソンの養成

(2) 普及員の移動手手段の確保

- ・ バイク等の移動手手段の提供

(3) 普及員の能力アップ

- ・ 専門知識・技術の他，メモの取り方など

(4) モニタリングとフィードバック

- ・ 農民集会やアンケート調査の実施など

5. おわりに

今後，教員や普及員が稲作技術を習得するに従って，普及員が農民に対して十分な稲作技術を指導でき，かつ JIRCAS を介さずに機能する指導体制へと移行させる予定である。